

2013年度
埼玉地区主題

主にある交わりを 深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2014年3月16日
発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 土橋 誠
飯能市柳町23-8
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama>
印刷所 (株)シャローム印刷

二〇一四年一月十三日（月）、埼玉新生教会を会場として、埼玉地区新年合同礼拝が行われました。出席者は、三〇三人、五十八教会伝道所・集会所（地区内は五十五）でした。今年は三区（一区・二区・三区）が合同で行う礼拝でした。

昨年秋のCSせいと大会が天候不順で中止となつたため、地区教育委員会が子どもたちのための交流プログラムを準備し、子どもたちも三十人近く参加してくれました。

子どもへのメッセージは、小川教會の末永廣牧師が「最もすぐれた道」と題してお話しくださいまし

アジア学院
は昨年創立四十
周年を迎へ、途
上国の農業指導
者の研修を行つ

べていけるように、様々な人々が共に生きていく農村社会を形成する指導者の養成を行うことである。この世界の七人に一人が飢えている。同時代に生きる者として、食べるこ

てたいへんな危機になつた。建物の被災、放射能汚染対策に追われた。学校の存続が可能なのか、苦しみの時であつた。丹羽前理事長の「わたしたちの働きが、神の御心にかなうならば、神が何とかしてくださる。」と言われた言葉が励ましとなつた。

信仰はお守りではない。苦しみのたゞ中で、主イエス・キリストが共にいてくださることを経験する。コリントの信徒への手紙一第十三章にある「愛」とは、まず、神のわたしたちに対する愛（アガペー）であり、き

聖書と、教会の歴史にその答えがあると常日頃考えていました。主イエスの召命を受けた者として、「福音を正しく宣べ伝える」教会を建てる歩みをしたい。「埼玉地区」の交わりの目的がそこにあると信じています。（都築）

今回の説教者は、アジア学院校長の大津健一先生でした。大津先生は、アジアキリスト教協議会（C C A）幹事、日本キリスト教協議会（N C C）総幹事などを経て一〇〇九年四月よりアジア学院校長、一二〇一二年六月からは理事長も兼任されていま

とのできない人々がいることを忘れない。毎年約三十人の研修ではならない。

それでも、優先すべきことは
おものが現実だとしきりと
しみじみ感じています。

ている。アジア学院が目指しているのは「サーバントリーダー」の養成。人々に安全な食べ物を提供する持続可能な農業（化学肥料や農薬を使わない有機農法）によって、人々が食

位を考えることは大事です。しかし、しばしばそれができないまま、「えい、やつ」と勢いでその「ものごと」を始めるしかない時もあります。

埼玉地区新年合同礼拝

西川口教会金田 佐久子



卷之二

ものごと
に取り組む

「三区合同教師会」報告

和戸教会 三羽 善次

三区合同教師会が、一月二十日（月）に東京聖書学校吉川教会においてもたれました。深谷春男牧師の説教による開会礼拝の後、上尾合同教会秋山徹牧師の講演「世界の教会と連帯する教会となるために世界教会会議参加レポート」がなされました。

秋山先生は教団の世界宣教委員会の委員長として、多くの国際宣教会議に出ておられますが、世界宣教と言う大きな視点から教会の福音の証しを考える必要を、次のように語られました。

「福音の証しは、礼拝、伝道、奉仕、教育、自然保護、あるいは社会正義、平和という『全体的』なものであり、わたしたちの生きるあらゆる場面において、神の主権を具体的に形にしていく教会の働きである。その宣教とならなければならぬ。その意味で、教団が現在推し進めている『伝道』は内向きではないか。これまでの『周辺への伝道』から『周辺からの伝道』という視点の転換が必要である。」

それが秋山先生の言われる「周辺から中心へ」という伝道につながる、と語られました。

最後に、昨年から今年にかけて天に召された、埼玉中国語礼

講演を通して、わたしたちの教会の働きの視座を広げていただく示唆を受けました。

昼食後、お二人の教師の発題がありました。志木教会潮義男牧師による「わたしの聖靈論」においては、聖靈を求めるだけではなく聖靈に満たされるという個人の信仰経験が明確になりました。その際、教団の信仰告白の中の「聖靈はわれらを潔（きよ）めて、義の実を結ばしめ」という一句は、ホーリネスの信仰を反映したものという北森嘉蔵先生の言葉を引かれました。聖靈体験が教会形成を堅固なものとし、またウェスレーが熱く言つた世界宣教につながると語られました。

続いて、東京聖書学校吉川教会坪内時雄牧師の発題「小さな者からの学び、弱い者からの学び」がされました。わたしたちの周りにいる社会的に弱い者、身体的に弱い者（特に幼な子）の周りにいる社会的に弱い者、精神的に弱い者（特に幼な子）の周りにいる社会的に弱い者、

主の教会を牧会し、福音を正しく宣べ伝えると共に、洗礼と聖餐との聖礼典を行うことであります。今年もプレゼントを山田先生を通して頂戴し、感謝します。新しい年も地区内諸教会が主のみ守りの内に力強く福音宣教に励まれますよう、祈っています。右御礼まで

二月十一日午前十時より「信仰の自由と平和を求める2・11集会」が大宮教会にて行われました。小海基牧師による講演「本当の民主主義とは」から聞きました。

川口教会 本間 一秀
二月十一日午前十時より「信
仰の自由と平和を求める2・
11集会」が大宮教会にて行
われました。小海基牧師による講
演「本当の民主主義とは」から
聞きました。

川口教会 本間 一秀
二月十一日午前十時より「信
仰の自由と平和を求める2・
11集会」が大宮教会にて行
われました。小海基牧師による講
演「本当の民主主義とは」から
聞きました。

主の教会を牧会し、福音を正しく宣べ伝えると共に、洗礼と聖餐との聖礼典を行うことであります。今年もプレゼントを山田先生を通して頂戴し、感謝します。新しい年も地区内諸教会が主のみ守りの内に力強く福音宣教に励まれますよう、祈っています。右御礼まで

李秀雲牧師、草加教会前牧師、米山正紀教師、伊勢崎教会前牧師でさいたま市に在住されていました。福士卓司教師の三人の方々を、それぞれのこれまでのお働きに感謝し、閉会祈祷の中お聴いて追悼しました。

、クリスマスプレゼントへの御礼状が届いています。

按手を受けて

東京聖書学校吉川教会

坪内 時雄



私は、日本基督教の群の教師として、二年間東京聖書学校吉川教会の伝道師として、主任担任教師の指導と東京聖書学校の生徒たち諸兄諸姉の篤い祈りに支えられて、按手を受ける恵みに与かる栄光に浴することが出来ました。驚きと共に父なる神さまの御摶理に感謝しております。

私は、日本基督教の群の教師として、二年間東京聖書学校吉川教会の伝道師として、主任担任教師の指導と東京聖書学校の生徒たち諸兄諸姉の篤い祈りに支えられて、按手を受ける恵みに与かる栄光に浴することが出来ました。驚きと共に父なる神さまの御摶理に感謝しております。

祝 按 手

主のご降誕を覚え、聖名を賛美します。此の度は、地区委員の皆様のお祈りと共に埼玉地のホーリネス教会の反省を込めて語られました。その際、教団の信教の自由2・11集会感謝申し上げます。皆さまの御働きと、地区的諸教会の上に、神さまの御祝福豊かにあります様お祈り申し上げます。

主の教会を牧会し、福音を正しく宣べ伝えると共に、洗礼と聖餐との聖礼典を行うことであります。今年もプレゼントを山田先生を通して頂戴し、感謝します。新しい年も地区内諸教会が主のみ守りの内に力強く福音宣教に励まれますよう、祈っています。右御礼まで

山岡 磐

主の教会を牧会し、福音を正しく宣べ伝えると共に、洗礼と聖餐との聖礼典を行うことであります。今年もプレゼントを山田先生を通して頂戴し、感謝します。新しい年も地区内諸教会が主のみ守りの内に力強く福音宣教に励まれますよう、祈っています。右御礼まで

金丸 富

クリスマスおめでとうござります。今年もプレゼントを山田先生を通して頂戴し、感謝します。新しい年も地区内諸教会が主のみ守りの内に力強く福音宣教に励まれますよう、祈っています。右御礼まで

遠藤 富寿

他にもたくさんの先生方が多く、纸面の都合上、全部をご紹介できなさいますようお詫びし、ご了承くださいます。

特集

あなたの愛をこの子らに

社会福祉法人児童養護施設

ホザナ園理事長

横山 義孝



第二次世界大戦が日本の敗戦となつた翌年、一九四六年九月初旬当ホザナ園は「戦災

面の子ばかりですが「ウン」といって六、七人の十歳ぐらいの男の子がついてきました。教会はJR浦和駅から二十歩くところです。おどおどして夫だよとなだめすかしながら、教会まで連れてきたものです。

その頃、浦和別所教会で修養生活をしている男女の若者がいました。皆で子どもたちの衣食住のすべての世話を始まりました。教会は豈の集会場にまつたの

孤児養育所」として発足しました。その頃、戦争で親を失つた子どもたちが上野駅の地下道や大宮駅のホームに多数たむろしていました。駅を出入りする人々から食べ物やお金をもらつて生活していたのです。

その頃、浦和別所教会の青年会員たち（筆者もその一人・十九歳）がその不憫な状況を見て、心を痛めていました。教会の牧師（横山英男）がキリストの愛の実践として、「この子たちを何とか世話をしようではないか」と決意したとき、立ち上がつたのは青年たちでした。



稚魚寝の生活です。教会員の献金、個人所有の土地や不動産を処分してこれに充てていまし

たが、たちまち底をつけ、止む

一同は小麦粉をこねて薄焼きパンを作り、これで子どもたちを誘つてこようというわけです。大宮駅に行きますと、子どもたちはもの乞いをしたり、ホームのベンチに寝そべつたりしていました。パンをみせて、「これ上げる、お兄ちゃんへこないか」と誘うと初対面の子ばかりですが「ウン」といって六、七人の十歳ぐらいの男の子がついてきました。教会はJR浦和駅から二十歩くところです。おどおどして夫だよとなだめすかしながら、教会まで連れてきたものです。

現在は創業当時から六十年余を越し、社会の状況も大きく変化し、理事長、施設長のあと、指導員、保育士等職員二十数名で運営しています。一九六一年

浦和別所から、現在のさいたま市緑区三室に新築移転しました。敷地三八〇〇m²、小舎式児童棟（五〇〇m²一階建て）二棟を中心に管理棟など全八棟を擁し、年間一億四千万円余の経費で賄われています。

昨今の子どもの特徴はかつての孤児は極めて少なく、殆ど子どもは親がいるのです。国が児童福祉法が制定され「児童は健全な環境で養育を受ける権利がある」との定めに従い、今多いのは被虐待児、あるいはDV（ドメスティック・バイオレンス＝家庭内暴力）等により家

を得ず子どもたちには浦和市生活保護法の適用を受けてもらい、辛うじて息をつく状態です。大宮駅に行きますと、子どもたちはもの乞いをしたり、ホームのベンチに寝そべつたりしてきました。パンをみせて、「これ上げる、お兄ちゃんへこないか」と誘うと初対面の子ばかりですが「ウン」といって六、七人の十歳ぐらいの男の子がついてきました。教会はJR浦和駅から二十歩くところです。おどおどして夫だよとなだめすかしながら、教会まで連れてきたものです。

現在は創業当時から六十年余を越し、社会の状況も大きく変化し、理事長、施設長のあと、指導員、保育士等職員二十数名で運営しています。一九六一年浦和別所から、現在のさいたま市緑区三室に新築移転しました。敷地三八〇〇m²、小舎式児童棟（五〇〇m²一階建て）二棟を中心に管理棟など全八棟を擁し、年間一億四千万円余の経費で賄われています。

一方、子どもと親身になつて接し、養育、支援に関心を篤くしてくれる職員をもとめています。また後援会では子どもとの文通により、子どもの健全育成に参与してくださる、「お手紙おばさん」（通称）を求めています。

一方、子どもと親身になつて接し、養育、支援に関心を篤くしてくれる職員をもとめています。また後援会では子どもとの文通により、子どもの健全育成に参与してくださる、「お手紙おばさん」（通称）を求めています。



一方、子どもと親身になつて接し、養育、支援に関心を篤くしてくれる職員をもとめています。また後援会では子どもとの文通により、子どもの健全育成に参与してくださる、「お手紙おばさん」（通称）を求めています。



年四回「ホザナ園だより」を発行しています。ご加賛を感謝しつつ、以上ご報告させて頂きました。

年四回「ホザナ園だより」を

発行しています。ご加賛を感謝

しつつ、以上ご報告させて頂きました。

**アジア学院研修生
ホームステイプログラム
—六月一日～三日—報告**

☆一人の研修生を迎えて

所沢みくに教会 登坂 久美子

六月二日(日) 今年も所沢みくに教会では、一人のアジア学院生をお迎えしました。

チャイヤ・ノンアサ(タイ・牧師)さんと濱中陽平さんです。



愛餐会にも参加。午後は、最上久美子さんと中学生たちで川越の町を案内しました。喜多院や蔵造りの街並みを等、とても喜んでいたようです。夕方から恒例となっている高崎家の庭でのバーベキュー。おいしく、楽しい時を過ごしました。

教会では、昨夏「アジア学院をもっと知ろう」という最上

光宏先生の発案で、車二台でアジア学院を訪ねました。震災の被害のことや学院の様子などお話を伺いました。そして寮生

と同じ食事をいただき畑を見たり、巨大な豚にびっくりしたり、アジア学院を身近に感じることができました。これからも、教会としてアジア学院生を受け入れ続けて行けたらと思っています。

☆豊かな交わりに感謝

安行教会 齋藤 勝

神さまが選んでくださった方エー・リーさん(ミヤンマー)を安行教会に、また、い

と小さき家庭にお送りくださいありがとうございます。

一日(土)、高崎和子さんの家に泊まつた二人は、日曜日はま

ず、CSの分級に。みんなで自己紹介の後、子どもたち手作りのモーセすごろくで遊びました。そして、一緒に礼拝を守り、



日間だった。アンドイさんは、エクアドルの郊外に生まれ、十歳の時にカトリック教会で洗礼を受け、成人して教育学を学び、今回アジア学院での学びの機会を与えたとのことである。

アンドイさんの証を礼拝の中で聴いて、改めて、アジア学院の設立の趣旨(アジア諸国に対する懺悔とそれに対応する働き)に、思いを馳せることとなりました。

早い梅雨入りでしたが、聖日礼拝後は小学生を交えて小動物のいる自然公園の散歩を楽しみました。夕食前に証を聞き、賛美と祈りあうひと時を過ごしました。小さな子どもが大好きで、身振り手振りでの会話に笑い声が絶えませんでした。



日間だった。アンドイさんは、エクアドルの郊外に生まれ、十歳の時にカトリック教会で洗礼を受け、成人して教育学を学び、今回アジア学院での学びの機会を与えたとのことでありました。

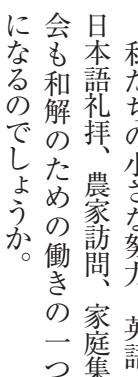
礼拝後、紙芝居「ベンテコステの日に」を、英語のセリフで演じ、聖霊が働き、言葉が通じ合う交わりとなつた。

彼の「歴史的・伝統的な物」との要望で、青年たちが市内の鷺宮神社と行田市の忍城などを案内した。夕食後は、近くの百觀音温泉を楽しんだ。



☆主よ、この働きを用い給え

アジア学院での学びとミヤンマーでの働きに豊かな祝福がありますように。



感謝しつつ

「神は、キリストを通してわたくしたちを御自分と和解させた：」(Ⅱコリント六章十八節)和解する任務を私たちにお授けになつた事を思はされる三

☆共に座す恵みに

日本語礼拝、農家訪問、家庭集会も和解のための働きの一つになるのでしょうか。

感謝しつつ

「こんなに落ち着いた外国人

想。共に座す恵みと喜びを覚え

る時を感謝!

